

「大伴」「夫」の墨書土器多数出土

——兵庫県教育委員会『丁・柳ヶ瀬遺跡発掘報告書』

一九八五年に兵庫県文化財調査報告書第三十冊として出版された。同書によると、七点の「大伴」、二点の「夫」、その他「椋垣」「殿」などの墨書土器が出土している。「大伴」は平城宮、多賀城、姫路市辻井遺跡で見つかっているという。土器はいずれも奈良時代のもの。

本文編（本文二四八頁・図版七二図）図版編（一〇七図）。

申込先 神戸市中央区下山手通四丁目十六番三号

兵庫県文化協会 頒価 一一〇〇〇円